■天文系絵本データベース公開中!

天文学と、場合である。アラネタリウム

www.tenpla.net

今月のお題

ミタカ星空プロジェクト



三鷹市を舞台とした天文普及計画、"ミタカ星空プロジェクト"。 その概要を、今号のコラムでは紹介します。

高梨直紘(東大D1/天文学教育研究センター所属) 平松正顕(東大D1/国立天文台ALMA推進室所属)

天文教室の開催

동교된

ミタカ星空プロジェクトの中核をなすのは、地域の方を対象とした"天文教室"の開催です。 天文教室では、星空を楽しむために必要な基礎知識と、実際に望遠鏡を操作して星を見る操作をセットで学びます。講師には、それぞれの分野が得意な天プラメンバーがあたります。全講習を修了後、実際に地域の幼稚園や小学校に出向いて、天プラメンバーと一緒に観望会を行い、子ども達に星を見せるのが目標です。何事もそうですが、自分の手で導入した星を見る喜びは、用意された望遠鏡で星を眺めるのに比べてはなく、星を人に見せる楽しみを、地域の皆さんにもぜひ体験してもらいたいと考えています。

サイエンスカフェ

企画しているのは、なにも星を見る系のイベントだけではありません。例えば、最近だんだんとメジャーになってきたサイエンスカフェ。ふつうは、まず企画を練り、場所を借り、人を集め…という準備がなかなか大変なのですが、例えば幼稚園に子どもを送った後のお母さん方のお茶の時間にちょこっとお邪魔して、最新の天文ニュースの話題についておしゃべりするくらいだったらないの準備もいりません。こうに意い域を中心にじわじわと浸透させていく予定です。既に国立天文台が主催して"アストロノミーパブ"が三鷹駅前で開催されているのですが、他にも"サイエンスソバ"(三鷹は深蕎麦が有名なのです)とかをやってみたいところです。



三鷹市直営のショップで売り出されたAstronomical Toilet Paper、略してATP。ATPもじわじわと地域に浸透中です。ふふふ…。

ここに挙げた以外にも、ミタカ星空プロジェクトに関する様々な企画を天プラでは計画中です。今後も、ウェブサイトでミタカ星空プロジェクトについて紹介していく予定ですので、ぜひチェックしてみて下さいね!